

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

令和5年秋の全国交通安全運動
御船警察署管内 熊本県御船町議会



5年ぶりに御船町での開催となった秋の全国交通安全運動出発式
(9月21日 御船町カルチャーセンター)

議会改革推進特別委員会 × 大学生(熊本大学・崇城大学) ... 2



議会HPは
こちら

No.191
8月議会
R5.9



議会改革推進特別委員会では、広く皆様のお声を伺いながら、さらなる議会改革を進めると同時に、議員待遇の在り方についての議論を進めている。そのためにも、町内外を問わずこれからの世代の声が必要不可欠であることから、今回は、議会アドバイザー熊本大学伊藤教授のゼミ生の方々、そして、同じく議会アドバイザーの長内先生が講師を務められている崇城大学の学生の方々から意見を伺った。

※●は学生の意見です。

熊本大学 伊藤洋典先生ゼミ

意見交換会 8月10日(木) 10:30～

参加人数 7人

Q1 議員報酬等、議員の待遇について ご存じか

- 知らない 5人
- 少しは知っている 1人
- 大体知っている 1人

Q2 議会及び議員に対してどのような 役割を望むのか

- 議員には、住む人の声を反映して議会で協議してほしい。
- 町議選の時に感じたことは選挙期間だけ動く

人と普段から動く人に分かれている。普段から町のことを考えてくれる人が良い。

- 課題をすぐ取り上げて、解決までに時間をかけずに進めている姿を求めている。
- それぞれの地域の問題ととらえがち。地域だけではなく全体で考えた方が良い問題もある。
- 政治という独自空間にしてほしくない。議員は行政の職員のように何か制度の中にいるような存在ではなく、普通の生活の感覚を持って町づくりに入っていける。その感覚を持って議論をする。町民が議会を見たときに何をやっているかわかる議員であってほしい。
- 投票の軸が変わっている。昔は地域代表だったが、今は地域性ではなく社会的な問題という方向に変わっている。若い人たちが発信して投票機構になるのは大事だと思う。でも若い人の人口が減っていく中で若い人の力を必要とするのは難しい。



Q3

議会及び議員が役割を果たすためにどのような議会改革が必要だと思うか

- 議会の中で、常任委員会や特別委員会は町民にはあまり関心がない。自分たちの地域の課題が議会での話題になっていると繋がるのが出来る。
- 一般質問で質問者と回答者の顔しか映像では見えない。一般質問をしていない議員はその時に何をしているのか。問題意識を共有する方法にしてはどうか。一般質問を基に議員間協議をするべきでは。
- 議会内で議論をすることは大事だが、議員の目線と住民の目線が違うのではないかと感じてしまう。目線が近づくと良いなと思う。

どうかも謎。議員が何かを成し遂げているアピールは必要。議員は尊敬される存在になる様に頑張してほしい。住民の意見も吸い上げるだけではなく、意見を取捨選択して議論するのが議員の役割だと思う。

- 選挙が大変というイメージ。子育て世代や働いている人が介入することが大事だと思うが難しいと思う。
- 周りに政治家をよく勧められていたが、大きなネックは収入源になる。
- 身一つで議員になるというのは収入面で不安。何か職業について議員の仕事をするのは難しい。しかし、議員活動の量を減らすというのは違う。議員だけでできる報酬は必要ではないのか。

Q4

将来の選択肢に「地方議員」を入れるためにはどうしたらいいか

- 議員になる条件を知らない人が多いと思う。この条件が広まればなる人もいるかもしれない。
- 議員の働き方がわからない。町民に合わせるとなるとちゃんと土日休めるのか等知らないことが多すぎる。小中学生に直接話に行くと、まだ職業選択がたくさんある中に議員という選択肢も生まれるかも。
- 選挙に出たくない。議員になって何が出来るのかもわからない。計画を変えられる力があるのか



議会アドバイザー 伊藤洋典先生からのコメント



- 地域性の話について。地域の問題が出てきて、全体として考えた時に優先順位がどうなるのか。優先順位を決める仕組みを考えるのが課題。
- 住民の声をどうやって集めているのか。議員の活動に任されていると議員から遠い人近い人で議員に対するイメージが変わってくると思う。議員の活動を個人任せにしていたらギャップは埋まらない。
- 議会のHPに町民から要望を受け付けるところがあっても良いのでは。町民に困り事があったら一番に行くのは行政。役場で対応してもらえなかった時には①あきらめるまたは②議員に相談するになる。②を受け付けるものを作り、議会で取捨選択するような仕組みを導入すれば。
- 議会が小中学校に行って、議会がどういうものかという話をする機会があっても良いのではないかな。多くの子どもたちがそこで初めて議員を見と思う。
- 議会のHPが町のHPの片隅にある。議会単独でHPを作るのはどうか。行政と議会は対等だというが、行政の一部に組み込まれている。議会が力を発揮できないような仕組みになっている。



崇城大学 長内紳悟先生ゼミ

意見交換会

8月31日(木) 10:00 ~

参加人数

7人

Q1 議員報酬についてどの程度が適切だと思うか

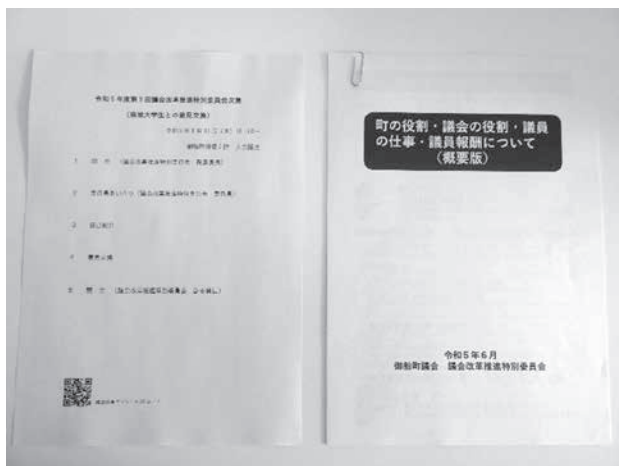
- 一般的社会人、公務員の平均と同じ 2人
- 一般的社会人、公務員の平均以上 4人
- 一般的社会人、公務員の平均以下 1人

Q2 議会及び議員に対してどのような役割を望むのか

- 議員が頑張れば頑張るほど報酬が増える、インセンティブのようなシステムであればと考える。スリランカの基本はそんなに高くない。議員が頑張れば頑張るほど、例えば100万円のプロジェクトで成果を上げたとするとその内1%は議員がもらえる仕組み。
- 住民の声の代表。

Q3 エリアイノベーションから考えて、地方議員は必要だと思うか

- 町民の意見を代表しているので必要だと思う。逆にいなかったらどうなるのか。
- 議員にプラス裁判員制度のように直接町民が関われる仕組みはどうか。
- 私は必要だと思う。意見がたくさん出てその中から良い意見を選んでいくことが大事だと思う。



↑ 事前に今年度委員会で作成したリーフレットを意見交換会前に読んでいただいています(右側)



Q4 議員は議決権がある。住民の方が参加される場合は議決権まで必要だと思うか

- 裁判員制度なら決定権がある。
- 町民一人一人が権限を持ったら、好き勝手に議決してしまいそうだから、議員の権利にしておいた方がよい。
- 地域全体住民には多少与えても良いと思う。議員の方よりも決定権は低いなら良いと思う。議員1に対して町民は0.3など。
- 住民には議決権はいらないと思う。裁判員制度のように無作為に選ばれるなら、興味のない人もいるので、適当に選ぶことになるので尚更やめた方がよい。
- 自分も議員の決定の重みほどはなくて良いと思う。議員は住民の中から選ばれている。それと同等の決定権があるのはおかしい。でも住民を混ぜるのは必要かなと思う。
- 今の話を聞いていると選挙の大切さがわかる。議会での決定権は議員のみ持っている方がよいと思う。だから自分の意見に近い人をきちんと選ばなければいけない。適当に投票をしてはいけない。
- 町民にも権利を与えてしまったら、選挙をして議員を選ぶ理由がなくなる。住民参加は必要だけど、決定権までではなくて良い。

Q5 議会はどのような議会改革が必要だと思うか

- 議員の活動を一般市民が評価できる仕組みはどうか。



- 議会広報をショッピングモールや職場の窓口等配付の方法を変えてみては。
- 学校と議会を結びつける。高校生から選挙権を持つ。最初の1票が大事だと思っている。例えば、学校の体育館で議員と話し合うとか。

Q6 議会というのは生活に密着したことが決まっている。にもかかわらず、議員になりたい人がいない。御船町始まって以来の無投票だった。多様な世代、職種の人が議員になるためにはどうしたら良いと思うか

- 自分が仕事を探すときには少しでも楽しいと思えるものを考える。議員の仕事でどういうことが楽しいのか、やりがいがあるかというのでは。
- 効率化がないのか。子育てとかで家から離れられない人はリモートで参加すれば、参加しやすいのでは。

Q7 議員の活動はどのようにしたら町民全体にわかってもらえるのか。効果的な方法は。今日は動画担当、広報担当が来ているということだから

- 動画作成チームでは議員のイメージを変えたいという考えがある。SNSでも悪いことは流れてくるが、良いことは流れてこない。そこを改善す

るために議員の1日を追う動画を出すというのはどうか。動画のシリーズも作りたい。頑張っている姿を見せたい。知らない一面なども。

- 広報チームは広報誌の記事の内容で、御船町についてのデータ分析したものを載せるとどうか。また、広報誌を媒体として御船に移住してきた人と情報発信していけると良いのでは。



会が終わった後もまだまだ話したりない!?

特に、両大学の学生の方々など若い世代の方々にとって、地方議会やはり遠い存在であるのだろう。逆に、そのような存在であるがゆえに、客観的かつ斬新、新鮮な意見が多く、今後の議会の在り方自体を考えるうえで、必要不可欠なご意見をいただいたと感じた。今後とも、様々な方々との意見交換を続けながら、さらなる議会改革を推し進めたい。

意見交換後の率直な感想を聞いてみました!

議会に関心がない人たちに働きかけるとのことだったが、議員が頑張っているというのが中々理解されない。そこが結びつかないのは難しいと感じた。



議員と話すと、議員活動は生活に関することなのだと実感する。住民の意見をどうやって取り入れているか等、生の活動が聞けるので面白かった。
(熊本大学 松田さん)

議員報酬は把握してなかったので、議員に対するイメージが変わった。少ない報酬で議員活動を頑張っていることに感動した。
(崇城大学 ディヌーシャさん)



議員報酬が少ないことに加え、縛られる時間が多いことに驚いた。またそういう実態も広めるべきだと思った。
(崇城大学 吉川さん)



地球沸騰化に歯止めを

80トンから1300トンに、管理運営は自治体から民間に、この唐突な計画変更を理不尽に思う。巨大産廃施設建設の実態と名称を隠そう隠そうとする。町民一万七千人の何割に周知しただろうか。カルチャーセンター説明会3回で延べにしても三百人に満たない。

「決まった事だろう」という人がある。そんなことはない、決まったわけではない。「いい施設と聞いた」本当にそうか確かめよう。経済優先の間活動が地球沸騰化を招いた。大型トラックが毎日往復660台マミコウロードを行き交う。理不尽である。



茶屋の本
谷村正典

10月の議会

3日(火) 佐賀県吉野ヶ里町議会視察受入、総務文教、広報

4日(水) 議会全体研修(群馬県、長野県)
6日(金)

10日(火) 全員協議会、総務文教

11日(水) 沖縄県宮古島市議会視察受入

12日(木) 議会(予定)、産業厚生、総務文教

16日(月) 広報

26日(木) 議運(予定)



「本町区みしろ会例会」
街なかギャラリーにて（9月18日）

議会アドバイザーに2人委嘱

この度、御船町議会アドバイザーに令和3年より就任されていた熊本大学法学部教授の伊藤洋典先生と、今回新たに崇城大学非常勤講師の長内紳悟先生に委嘱した。議会アドバイザーとは、議会基本条例第20条で、議会の活性化や議会運営に関して専門的な意見を得るために設置される。

伊藤 洋典 氏

（継続）令和5年9月1日～令和7年8月31日

経歴

1960年大分県出身 九州大学法学部卒業
現在、熊本大学副学長、熊本大学法学部教授



長内 紳悟 氏

（新規）令和5年9月1日～令和7年8月31日

経歴

1980年岩手県出身 早稲田大学大学院政治学研究科修了
現在、崇城大学非常勤講師、早稲田大学マニフェスト研究所ローカル・マネージャー、一般社団法人地方公共団体政策支援機構代表理事

